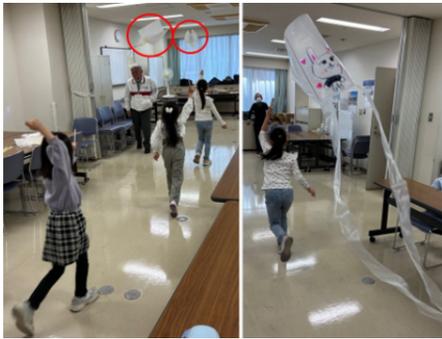


町田わくわく！科学実験教室

2月21日（土）、町田市民フォーラム4階にて、町田YMCAが運営する「わくわく！科学実験教室」が開催され、小学校1,2年生、4名の女子児童が参加しました。

2月のテーマは「希望の凧」でした。1995年の阪神・淡路大震災のあと、2011年の東日本大震災、2024年の能登半島地震など続く中で、神戸YMCAなどが中心となり、震災の経験を風化させず、被災地に想いを届けるためのイベント「3.11 揚がれ！希望の凧」として定着したものです。どうして凧に反りが必要か、について、簡単な「流体力学！」の説明を受け、各自で凧を作製しました。例年は15分歩いて芹が谷公園まで行き、凧揚げをしたのですが、今回は特に小学校1,2年生だけということもあり交通の安全も考慮して、室内用軽量タコをつくりました。凧はないので自分で走るのですが、歩いただけでもよく揚がりました。また、かわいい絵を集中して描いたタコも揚げ、室内でも十分に安全に、「希望の凧」を作って揚がる凧に大喜びの時間を過ごして、災害への支援のエールを送りました。



- 4月11日（土）第7回ワイワイウォーク縄文の旅 10:30-14:30（総武線市川駅改札）
- 4月21日お茶講座第4回（深尾部長）
- 4月28日（火）東京YMCAチャリティーゴルフ（PGM総成ゴルフクラブ）
- 5月9日（土）神田川舟の旅
- 5月16日（土）東新部部大会・コンサート（東陽町）
- 6月6-7日東日本区大会（石巻）
- 7月多摩スマイル10周年記念例会
- 8月在京フォーラム（リーダーOBOG）
- 11月6日YMCA支援チャリティーコンサート（霊南坂教会）

会長 山口 和彦
副会長 権藤 徳彦
書記 加藤 祐一
会計 富樫紀代美
担当主事 諏訪 治邦



町田コスモスの第一例会、第二例会のオンライン会議室は東日本区会議室(QR左)に一年間予約しました。jitsiMeet（ジッチェミート QR右）は活動委員会などに使用します。

町田市議会議員 今村るかさん
＜会員近況＞

2月8日から14日まで町田市の市長市議会議員選挙がありました。思い返すと我が町田コスモスクラブの前身であるコスモスクラブチャーターメンバーとしてお声をかけていただきずいぶんの歳月が過ぎました。今回の選挙は市議会議員としては6期目の当選となります。また、無所属としては3度目の選挙となりました。政党の推薦などがあると様々な支援がありますが、無所属はそうしたことはありませんので個人つながりだけです。ワイズの方々にはこれまでの関係でさまざまに応援をいただき心から感謝いたします。今後も町田でのご縁を大切に、活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



～ 今後の予定 ～

- 町田コスモス
- 3月5日第一例会
- 3月19日第二例会、東京町田YMCA活動委員会
- 3月21日町田わくわく！実験教室
- 6月27日町田コスモス30周年例会
-
- 3月7日（土）東京YMCA高等学院 文化祭（山手センター）12:30-15:00 能登の製品販売
- 3月10日（火）茶の湯入門講座19:00-（リモート）
- 3月14日（土）-15日（日）次期部役員、会長研修会（御殿場・東山荘）
- 3月19日（木）“認知症サポーター要旨講座”14:00-15:30（山手センター）
- 3月22日（日）東日本区ナイトフォーラム20:00-21:00（リモート）
- 3月24日（火）茶の湯入門講座19:00-（リモート）
- 3月25日在京ワイズ会長会
- 3月28日（土）八王子クラブ・チャリティーコンサート14:00-16:00（北野市民センター）
- 4月7日お茶講座第3回（深尾部長）

30周年にむかっています（6/27／町田ヴィラホテル）

事務所：227-0036 横浜市青葉区奈良町1566-565 山口 和彦気付
第1例会 第1木曜日 17:30～19:30 / 第2例会 第3木曜日 17:30～19:30
場所 玉川学園コミュニティセンター会議室

会費振込先 【銀行口座】きらぼし銀行 玉川学園支店 0137
店番 060 口座番号5048617 東京町田コスモスワイズメンズクラブ



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA COSMOS



東京町田コスモスワイズメンズクラブ

TO ACKNOWLEDGE the DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT.

「強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う。」

2026年3月号
第356号

TOKYO MACHIDA COSMOS

Chartered in May 1996

【今月のことば】

「人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、主がその歩みを確かにされる。」

箴言 16章9節（新共同訳）
（加藤祐一選）

2026～2027年度主題

クラブ会長 山口和彦（町田コスモス）	主題：現実を見すえ、コースのために着実な一歩を！ スローガン：共に未来を創ろう！
東新部部長 深尾香子（多摩スマイル）	主題：「考えること」を止めないで進もう！ スローガン：棚卸と原点回帰。評価から展望へ。
東日本区理事 山下 真（十勝クラブ）	主題 『ワイズのらしさ再発見』 スローガン Change！
アジア太平洋地域会長 田上 正（熊本むさしクラブ）	主題 『信念と愛を持って行動しよう！』 スローガンYMCA、コースと共に地域社会に貢献しよう！
国際会長 Edward Ong（シンガポール）	主題 『信念、愛、行動』 スローガン 『共に、より強く』

【3月の強調テーマ】

CS/GreenP/ワイズメネット

2026年3月第一例会

日時 2026年3月5日（木）17:30～19:30

オンライン <https://meet.iit.si/町田コスモス例会>

場所 玉川学園コミュニティセンター 2F多目的1A

オンラインする場合は、末尾のURLをなぞって、URLの窓に貼り付けてください

設営：加藤、受付：富樫 進行司会：加藤

開会点鐘	会長	山口和彦
ワイズソング	一同	
モットー、ワイズ信条	司会	
今月のことば	加藤祐一	
ゲストビジター紹介	会長	山口和彦
会長挨拶	――	

町田コスモスの
記念誌やプリテンから
歴史を知ろう

スピーカー
メンバー全員

YMCAニュース・アピール
諸報告
ハッピーバースデー
にこにこ献金
集合写真・献金報告
閉会点鐘

担当主事 諏訪治邦
書記 他
会長 山口和彦
ドライバー
司会、会計
会長 山口和彦

巻頭言

書記 加藤 祐一



書記という仕事について考えてみました。
ワイズメンズクラブでの書記は自治会や理事会での書記という認識とはずいぶん違うなあと感じておりました、いわゆるクラブ運営の根幹の役目があるわけですね。

プリテンの作成や発行の中にはクラブ活動がYMCAの支援となり、地域のつながりとなり、発展するような舵取りを、プリテンを通して俯瞰しているんだということです。

あちらへ突き進めという役目よりも船をそのような向かわせるにはどういう積荷があって、燃料や食料がどのくらいあって、気象条件と運行計画に基づき判断するということを俯瞰するという役目があるんだなあと思いました。

この俯瞰力こそ、思いっきり養ってくれるのはワイズだけじゃないかと思っています。そういう意味からプリテンの発行はクラブの健康度をみるバロメーターかもしれません。

3月Happy Birthday：27日 松香 光夫さん

2月データ	在籍	8名	例会出席	メン	4名	BFポイント	町田コスモス	
	出席	10名		メーカー	0名		にこにこ	5,500円
				出席率	50%		切手	0g
				メネット	0名		累計	0g
		集合写真・献金報告	0名			累計	37,250円	

2月第一例会

日時：2026年2月5日（木）17：30～19：30
場所：玉川学園コミュニティーセンター 2F多目的1A

出席者(敬称略)：(10名) 山口和彦(会長)、権藤徳彦(副会長)、加藤祐一(書記) 富樫紀代美(会計) / ビジター：伊藤幾夫(多摩スマイル)、綿引康司、石田孝次、田中博之 / ゲスト：スピーカー 荒井 永理さん、大山綱夫さん(山口会長のご友人)(クラブ4名、ビジター4名、ゲスト2名)

2月第一例会は卓話者に荒井永理さんをお招きしました。ゲストには以前、お越しになった大山さんが来られました。ビジターにも恵まれ、子ども食堂の運営と利用する子どもが来られる事情などから深いお話をいただきました。なお、強調月間TOF、断食のテーマから軽食はなかったのですが、宝塚クラブからバレンタインの素敵なお菓子の詰め合わせをいただきました。華やかな例会になりました。



山口会長からのお礼と感想文を掲載しますと、「荒井さんは多摩市で子ども食堂“ほくの家”を運営しながら、フードパントリー、デイサービス、鍼灸院等もされている多才な方です。今回は子ども食堂とフードパントリーの運営をしながら気づいた、

利用世帯の抱える問題について、どのように協力したらよいかなどお話していただきました。地方で暮らしていた方が、事情で家を出ざるを得なくなり、東京で暮らすひとり親の家庭が利用者としては多いようです。はじめ方言などの問題があり引きこもりがちで孤独な方でも、いろいろ話していくうちに不快感、孤独感が徐々に消え、「今度は私が支援する側に回ります」と積極的にようになっていくケースもあるそうです。地域社会のなかでかけがえのない大事な活動を精力的にされている点に感動いたしました。」とのことでした。



一同、卓話に堪能したお時間を荒井さんからいただきました。ありがとうございました。このあと山口会長からお礼があり、またハッピーバースデーに多摩スマイルの伊藤ワイズにプレゼントを贈りました。

会員近況では今村かワイズが議員当選したニュースがありました。

2月第二例会(部長訪問)

日時：2026年2月19日（木）17：30～19：30
場所：玉川学園コミュニティーセンター 2F多目的1A

出席者：(9名) 山口和彦(会長)、権藤徳彦(副会長)、加藤祐一(書記)、富樫紀代美(会計) ビジター：(東新部) 部長 深尾香子、会計 石田孝次、書記 伊藤幾夫、会員増強事業主査 綿引康司、長澤弘(東京)(クラブ4名、ビジター5名)

第2例会は、深尾香子部長と随行役員に部書記・部会計・部会員増強主査の公式訪問でした。30周年行事の構想を固めることができ、会計からは自主献金と部費を無事に納める報告がありました。

11月6日霊南坂教会でYMCAリーダーOBOGをはじめとするワイズ、東京YMCA会員部の合同コンサートの集いの計画が山口会長から発表がありました。以下、権藤副会長のコメントです。「ここ数年、ワイズメンのリーダーシップ更新が強く意識されながらも個々のクラブのみならず部・区のレベルにおいても、2期・3期と留任が続く事態からの脱出への努力がなされていること実感し、気力とワイズメンズの活動機能の回復・再興の努力が懸命になされている事を共有確認でき、残る後期半年の活動と次期への新展開に有意義な例会となりました。」



オンライン参加の長澤さんをお交えて



卓話のお礼



誕生日を祝う



ウクライナ避難者支援集会に参加しました 山口 和彦ワイズ

2月21日(土)、日本YMCA同盟主催の「戦禍を逃れて四年、ウクライナ避難者が自ら語る“いま”“これから”」と題された集会在コモレ四谷タワーで開かれ、ウクライナからの避難者50数名、日本人50数名が参加し、2022年秋から同盟によるウクライナ避難者支援活動に参加している山口が参加しました。避難してきた当初は数か月、あるいは1,2年で帰国できると想定していた方が多かったそうですが、4年が経過し、帰国への考え方も変わってきたそうです。日本財団からの生活費支援も終了し、とまかく働かなくては、ということで努力しているそうです。しかし、中高年者には日本語の壁があり、特に体調不良の高年者は働きたくても難しいようです。若い方は日本語、環境への適応もうまくいっているのですが、進学、受験の問題があります。アンケートの結果では終戦後も6割以上の方が帰国をあきらめ、日本への永住を希望しているそうです。就職面など、ワイズの現役の方々が力になればよいのだが、という思いを持ちました。



玉川学園コミュニティーセンター 運営委員会に出席しました 山口和彦 会長

2月12日(木) 玉川学園CCで月例の運営委員会が開かれ、山口が出席しました。

この会には地元商店会会長初め、コーラスの会、日本舞踊の会等、玉川学園CCをよく使っている14団体から運営委員が出ており、山口が町田コスモスクラブの代表として、昨年11月から松香さんの後任として承認され、出席しています。

討議内容はCCの活用法、地域活性化、玉川大学学生との交流促進などありますが、11月の文化祭の運営が委員会の中心的テーマで、常に議論の底流にあるように思われます。

町田コスモス、多摩スマイル、町田YMCAで2026年11月にはブースを出して活動報告をしつつ、カッター折りのデモとか本の販売も行うとよいと思います。地域での広報活動には最適な場だと思いますので、早めに検討を始めましょう。なおロッカー抽選の申し込みをいたしました。抽選日は3月12日(木) 9:30からです。

コスモス30周年記念例会にむけて 2月21日(土)開催 権藤 徳彦ワイズ

コスモス30周年記念から新しい成長と機能活性を生み出したい! ~

企画準備会を町田市民フォーラム講習室で開きました。その第一回は、「東京町田YMCA」支援活動に始まる「東京まちだクラブ」設立に続き、「町田コスモスクラブ」の設立、そして現「東京町田クラブ」に統合となった活動史の幾つか、持ち寄った資料を見ながら、急変しつつこの時に叶う新鮮な活動力となる価値ある再発進の好機にと期待しつつ、開催案内・記念行事・記念誌にわたり企画案件を提示し合うことができました。ここから、6月27日(土)に向けて企画を練り上げ備えを進めて行きましよう。

こども食堂「にこにこ清風食堂」の ボランティアを始めました 山口和彦ワイズ

町田市内での地域貢献を考えていたところ、社会福祉法人賛育会傘下の清風園(特養施設)がこども食堂を運営しており、問い合わせたところ、食材準備のお手伝い、歓迎します、とのことでしたので、あらかじめ打合せの上、2月19日(木) 午後、3人で伺いました。この日はコロッケ付きビーフカレーとサラダ、オレンジというお弁当で70食作り、

夕方5時30分から近くの金井中学校の駐車場で200円で販売しました。特養の管理栄養士さんたちがコロナ前からボランティアで始めたようですが、特養の仕事の合間にやるのでお手伝いのボランティアが必要なのだそうです。

管理栄養士さんが献立、調理、衛生管理と指導してくださるので安心でもあり、勉強になります。調理場所は特養施設の厨房ではなく、別棟のサービス付き高齢者住宅の共用キッチンを使わせていただくので、数人が動ける程度の狭さです。ボランティアは少なすぎても多すぎても困るので、何らかの事前の人数調整が必要だと感じました。

